

「外国人雇用状況」の届出状況(平成25年10月末現在) 【概要版】

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- ・外国人労働者数は3,087人。
前年同期比で98人(3.3%)増加。

【増加した要因】

- ・現在、政府が進めている高度外国人材、留学生の受入が進んできていることに加え、雇用情勢が、一部に厳しさが見られるものの、改善傾向で推移していることが考えられる。

○ 国籍別の状況

- ・中国 2,210人(全体の71.6%) [前年同期比1.0%減少]
- ・フィリピン 281人(同9.1%) [同19.1%増加]
- ・ベトナム 123人(同4.0%) [同48.2%増加]
- ・特に、ベトナムについては前年同期比で40人(48.2%)増加しており、大幅な増加となっている。なお、前年度のベトナムは特別に再集計した数値と比較した。

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習生 2,107人。前年同期比で22人(1.1%)増加。
- ・身分に基づく在留資格 529人。前年同期比で43人(8.8%)増加。
- ・専門的・技術的分野 251人。前年同期比で20人(8.7%)増加。
- ・技能実習生の構成比は全国の構成比と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 (全体の36.4%) [同 2.7%増加]
- ・鳴門地域 (同17.9%) [同 0.4%増加]
- ・吉野川地域 (同16.1%) [同 8.8%増加]

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は669か所。
前年同期比で9か所(1.4%)増加。

【増加した要因】

- ・ 高度外国人材などの受入促進による外国人労働者の増加に加え、外国人労働者を雇用した場合の届出制度の浸透が進んでいることが考えられる。

○ 都道府県別の状況

地域別の状況

- ・ 徳島地域 (全体の39.2%) [同 3.0%減少]
- ・ 鳴門地域 (同22.1%) [同 5.7%増加]
- ・ 吉野川地域 (同13.8%) [同 4.5%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の69.4%、外国人労働者全体の54.5%を占めている。
- ・ 事業所、外国人労働者とも「30人未満事業所」の構成比は全国における構成比と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業は外国人労働者数全体の56.5%
外国人労働者を雇用する事業所全体の42.0%
- ・ 産業別構成比はここ3年ほどほとんど変わっていない。
- ・ 農業・林業、製造業の構成比は全国における構成比と比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
・ 49か所(事業所全体の7.3%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
・ 197人(外国人労働者全体の6.4%)